

## 司法の一翼を担う 自治能力の高い弁護士会を

— 2015年度会長の就任にあたって—

東京弁護士会会長 伊藤 茂昭

2015年度会長に就任いたしました。6名の副会長、2名の監事と心を合わせ、市民から期待される役割を果たすとともに、会員のための会運営を目指しますので、どうぞよろしく願いいたします。

弁護士会は今課題が山積しています。7500名を超える会員を擁し、多様化が進む中で、自治の堅持とそれをささえる会員のための業務の拡大は喫緊の対策が必要です。司法の一翼を担う人権の砦として、弁護士会が果たしてきた役割を継続することができるよう、1年間揺らぎのない基礎固めに取り組みたいと思います。

### <憲法と平和>

昨年の集団的自衛権の行使を容認する閣議決定は、立憲主義に反し、それに基づき進められている関係諸法の改正の動きは、自衛隊の海外での活動に対する歯止めを外すもので、今までの憲法解釈からは導くことができません。多くの会員が憲法問題に関心を持ち、この平和を守る活動に参加することをお願いしたいと思います。

### <弁護士不祥事対策>

弁護士不祥事の多発は、市民の弁護士会に対する信頼を損ね、外部から弁護士自治の統治能力を疑われる原因となります。研修制度の充実、市民窓口、非弁提携対策など関連する部署の連携を強化すること、メンタルヘルス対策などにあたります。

### <若手会員のサポート>

昨年発足した若手会員総合支援センターと弁護士活動領域拡大推進本部を強化するとともに、新進会員活動委員会、クラス別研修制度の充実に努めたいと考えます。

弁護士の職域拡大については、自身で多くの企業内弁護士や任期付き公務員を送りだしてきた経験から、

企業内弁護士や任期付き公務員との意見交流を進め、より具体的に需要にあった適材の育成に努めたいと思います。

### <会財政の健全化>

東弁の財政は、長年にわたり赤字予算・黒字決算を続けています。予算の財政規律の役割を強化する必要があると考えています。また会館特別会計については、資金の用途と必要な予算について検討し、会員、特に若手会員の負担軽減をはかる必要があると考えています。多くの会員の皆様のご意見を頂戴したいと考えています。

### <法律相談センター、公設事務所>

市民の皆様にとって重要な機能を負う弁護士会の重点事業は、需要との関係を見計らいながら、より効率的にその任務を果たすことのできるよう改革を進めたいと考えています。法律相談センターについては、相談担当者の質の向上、分野別相談の充実、インターネットでの受付、アウトリーチなどが課題と考えていますので、皆様のご意見を聞きながら改革に取り組みたいと考えています。

### <会内民主主義と必要な会長の決断>

以上の課題を実現するため、会内の意見集約に意を用います。役員選挙の選挙権の行使、総会での議決への参加が会内民主主義の基本ですが、重要政策の決定に当たっては、会員の意思を尊重しつつ、決断が必要な時はしっかりと決断をするという、運営トップの責任を自覚し、必要な改革を実行したいと考えています。

会長は、会員と弁護士会と市民のために存在することを肝に銘じ、1年間頑張りますのでよろしく願い申し上げます。

## 2015年度の役員に

誌上インタビューを行いました。

1年間よろしくお願いたします。

### 質 問

- ① 一番関心のあることは何ですか？
- ② 一番大切にしていることは何ですか？
- ③ 長所・短所、趣味は何ですか？
- ④ 座右の銘は何ですか？

## 「平和」と「憲法」～法律家の使命～

会長 伊藤 茂昭 (32期)



- ① 今、一番関心のあるのは「平和」と「憲法」です。集団的自衛権の行使容認は、恒久平和主義と立憲主義に反します。法律家の使命としてこの憲法違反を見過ごすことはできません。それに続く関心事は若手支援と会財政です。
- ② 譲り合いと和の精神です。お互いの立場を尊重し、無用な闘いはできるだけ避けることが大切と思います。
- ③ 自分でいいと思ったことはすぐに行動に移すタイプです。それが行動力という点では長所ですが、場合によっては短所となるかもしれません。趣味は宝塚歌劇観劇、ボウリング、ウォーキングです。
- ④ 「義」と「愛」です。「義」は上杉謙信から、「愛」は直江兼統の「愛民思想」に因みます。

## ひとつひとつ確かな歩みを！

副会長 森 徹 (41期)



- ① 弁護士人口が増え、弁護士の活動領域も拡大し、思考や価値観が多様化している中、これまでのような法廷活動を中心とした「共通言語」を持ち続けることができるかどうかです。多様な法曹が誕生する中、新たなコアバリューの創造に叡智を結集していく必要があると思います。
- ② 「人」をよく知ることと健康です。
- ③ 長所は人一倍短所が多いこと！ その分、その人の立場に立って考えようとするところが強いていえば長所かも知れません。短所は、心配性、悲観的、愚痴っぽい、短気、押しが弱い…これ以上は紙幅の関係上、割愛致します。趣味はぶらぶらと歩くこと、酒を飲むことです。
- ④ "Live as if you were to die tomorrow. Learn as if you were to live forever."  
学生時代に出会ったこの言葉、つい先日、逆に覚えていたことに気づきました。

## 弁護士の未来を拓く

副会長 佐藤 貴則 (42期)



- ① この国の行方です。今、とても不安定な状態にあると思います。注意して見ていないとどこに行くのか分からない気がします。この状況に東京弁護士会がどう対応するのかを真剣に考える時だと思います。
- ② 誠実さ、でしょうか。努力しないとなかなか誠実にはなれませんので、その努力を大切にしています。
- ③ これを長所と言えとすれば、人付き合いがいい、です。たいがい最後まで行ってしまいます。明確な短所は、片付けができない。特に字の書いてある書類の整理が大変苦手です。趣味は料理でしょうか。今は余り作れなくなりましたが、今年のお節は作りました。鶏の唐揚げは評判がいいです。
- ④ これまでは、明日やれることは今日やるな、でしたが、これからは、今やれることはすぐやる、に変更いたします。

## 弁護士の誇りと輝きを取り戻すために

副会長 渡辺 彰敏 (44期)



- ① 弁護士に対する評価，社会的評価・自己評価の双方を含めた意味での評価を高めていくことにもっとも関心があります。
- ② 人とのつながりです。武田信玄は「人は石垣，人は城」と言いました。いかなる組織も，人々とのつながりがあってこそものと考えています。
- ③ 長所は集中力があること，短所はその集中

力が余り長続きしないこと。趣味は，読書と最近進歩の止まってしまったゴルフです。

- ④ 座右の銘ではありませんが，「やらなかったことを後悔するぐらいなら，やってしまったことを後悔する方が，よほど人生の糧になる」との言葉を肝に銘じ，何事に対してもチャレンジする姿勢でいきたいと思っています。

## 憲法と弁護士自治を守るために

副会長 大森 夏織 (44期)



- ① 現行憲法の恒久平和主義，そして現行憲法下で誕生した弁護士自治は，わたしたちの誇るべき宝物です。全ての世代が手をつなぎ，皆で宝を守っていききたいと思います。
- ② 他者の志に学び，他者の思いに共感する努力。これらを大切にしたいと思っています。
- ③ 長所は立ち直りの早さです。短所は自己中・

怠惰・雑・短気・不機嫌顔（楽しんでいるのに「疲れている？」と言われ，何も考えていないのに「怒っている？」と言われる）など数多あり，あらかじめお詫びしておきます。趣味はドラマ・映画・小説などフィクションの世界にのめり込むことです。

- ④ 特にありません。

## 法の支配の徹底と力強い弁護士会

副会長 中嶋 公雄 (45期)



- ① 弁護士をより魅力あるものにしたいと考えています。そして，法曹志望者が増加すること，市民が安心して弁護士を依頼できること，世の中のあるとあらゆる地域・領域に法の支配が行き渡ること，そして弁護士自治を堅持することを目標としています。
- ② 様々な人との出会いを大切にしようと考えています。
- ③ 長所は，引き受けた仕事は最後まで真面目

に取り組むことです。短所は，自分では自覚はありませんが，よく頑固だと言われます。

ヨーロッパでドライブすることを趣味としています。

- ④ 座右の銘ではないですが「時間差合議」。修習中に，裁判官に教えられた言葉です。仕事をするときには，「課題が与えられたらまずはすぐに仕事をし，その仕事は一度忘れ，再度，提出直前にもう一度見直す」ことを心がけています。

## 弁護士と弁護士会の発展に貢献する

副会長 湊 信明 (50期)



- ① 先輩世代と若手世代の置かれている状況や考え方が異なってきつつある中で，両世代が互いに相違があることを認めつつ，一体となって発展し，弁護士自治を堅持していくには如何にすれば良いかという点に関心があります。
- ② 「面白きことも無き世を面白く，住みなすものは心なりけり」と高杉晋作が言ったように，何事も前向きにプラスの方向から考えていくことを大切にしています。

- ③ 長所はあまり怒らないこと，短所は上手いかなないと「自分はだめだなあ」と思い過ぎること。趣味はホットヨガで汗をかきまくること。

- ④ 一休宗純の言葉といわれている「この道を行けばどうなるものか，危ぶむなかれ，危ぶめば道はなし，踏み出せばその一歩が道となる。迷わず行けよ，行けばわかるさ」という言葉が好きです。

# 2015年度 役員紹介

1年間よろしくお願いいたします。

監事 吉村 誠 (47期)



- ① 会員一人ひとりが社会のニーズに沿った活動に専念できるように弁護士会がどのようにサポートしていけるか。そのためにも弁護士自治は必ず守らなければならないと考えています。
- ② 相手の立場にたつて物事を考えつつ、物事の全体像とディテールとのバランスをとること。
- ③ 長所は、プラス思考。短所は、いろいろあ

りますが、例えば、人にものを頼むのが苦手なこと。趣味は、毎週末のテニス（専らダブルスです）と月一回程度のバンド演奏（70年代英米ハードロックのコピー中心。ギター担当）です。

- ④ 論語の「己の欲せざる所は、人に施すこと勿れ」を心がけるようにしています。

役員たる自覚と緊張感を忘れず

監事 鹿野 真美 (53期)



- ① 個人的には、日本が戦争をする国にならないようにするため、今の自分にできることは何か、ということが一番です。  
弁護士会の役員としては、会費問題です。
- ② 感謝の気持ちと森羅万象に対する畏敬の念です。
- ③ 長所は、「君は素直で明るい（だけ）が取り

柄だ」という意味のことを言うていただくことが多いので、そういうことにします。短所は、感情表現が大きくなりがちなところ。もちろん、わざとではありません。生理現象類似のことと、お許しください。趣味は観劇です。

- ④ 座右の銘ではありませんが、好きな言葉は、「冬来りなば、春遠からじ」です。

## 2015年度 東弁常議員 (80人)

山岸美佐子	柴垣 明彦	中山慎太郎	廣畑 牧人	大塚 康貴	阿部 泰彦	山下 麻子	山崎 岳人
佐瀬 正俊	彦坂 浩一	川村 百合	山本 志都	勝山 正雄	中川 紗希	弓田 竜	野口 成貴
林 史雄	松田 純一	菅沼 真	中村 剛	加藤 彰仁	大瀧 靖峰	友成 亮太	大野 俊介
原 希世巳	栗林 勉	新宅 正雄	後藤 正志	芳賀 成之	保原 麻帆	高遠あゆ子	木村真理子
千葉 肇	相川 裕	渡邊 慎一	上條 弘次	水島 直也	山岸 泰洋	安井 之人	内村 凉子
加園 多大	川合晋太郎	堀口 昌孝	久保木亮介	余吾 哲哉	小町谷悠介	金川 裕紀	荒木耕太郎
湯川 将	松田 浩明	松野絵里子	青島 克行	鶴澤亜紀子	早崎さやか	芝田 麻里	皿谷 将
内藤 平	木村 英明	大井 哲也	保木野秀明	稗田さやか	大森 創	石井 浩一	吉田健詞郎
神谷 晋	富永 忠祐	面川 典子	中村 一樹	余頃 桂介	星野久美子	大木 章史	若林 祐介
船木 秀信	植松 勉	細川早智子	遠藤 きみ	山添 健之	谷口 琢哉	出口かおり	湯山 花苗

## 2015年度 日弁連代議員 (78人)

山岸美佐子	松田 純一	菅沼 真	中村 剛	芳賀 成之	山岸 泰洋	安井 之人	大野 俊介
佐瀬 正俊	中嶋 公雄	湊 信明	後藤 正志	水島 直也	小町谷悠介	金川 裕紀	木村真理子
林 史雄	栗林 勉	新宅 正雄	上條 弘次	余吾 哲哉	早崎さやか	芝田 麻里	内村 凉子
原 希世巳	相川 裕	堀口 昌孝	久保木亮介	鶴澤亜紀子	大森 創	石井 浩一	飯谷 味央
千葉 肇	川合晋太郎	松野絵里子	青島 克行	稗田さやか	星野久美子	大木 章史	皿谷 将
加園 多大	松田 浩明	大井 哲也	中村 一樹	余頃 桂介	谷口 琢哉	出口かおり	吉田健詞郎
内藤 平	木村 英明	面川 典子	遠藤 きみ	山添 健之	山下 麻子	本橋浩一郎	若林 祐介
神谷 晋	富永 忠祐	細川早智子	大塚 康貴	中川 紗希	弓田 竜	高津 陽介	湯山 花苗
柴垣 明彦	植松 勉	廣畑 牧人	勝山 正雄	大瀧 靖峰	友成 亮太	赤瀬 康明	
大森 夏織	中山慎太郎	山本 志都	大塚 和紀	保原 麻帆	高遠あゆ子	野口 成貴	

\*登録番号順・敬称略